



しゅうちゅうごう ないすいはんらん
集中豪雨による内水反乱



ぼうふう てんとう おおがたしや
暴風により転倒した大型車



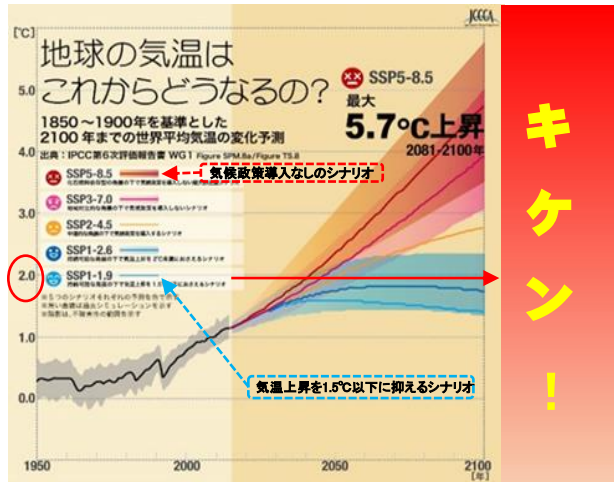
こうずい
バングラディッシュの洪水



やまかじ に
山火事から逃げるアオハシコウ



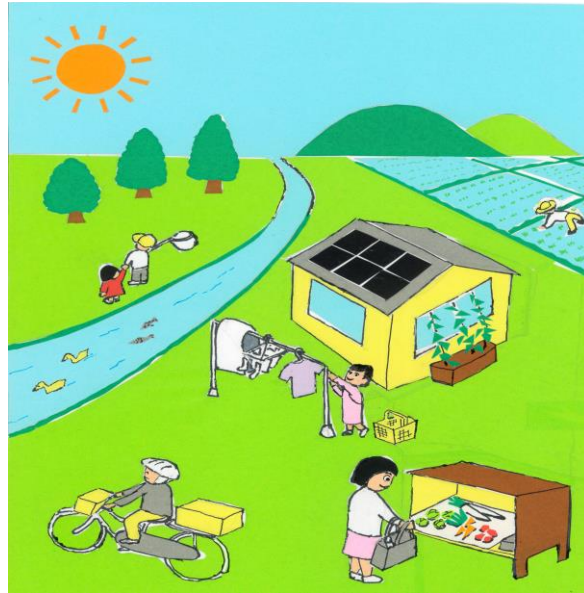
ちいき ひあ ぬま
サヘル地域の干上がる沼



ねん せかいへいきんきおん へんかよそく
2100年までの世界平均気温の変化予測 (※4)

す わたし
住みにくくしているのは私たち
だつたんそ
脱炭素はまったなし!
いっしょ こうどう
一緒に行動しませんか? (※10)

- ★自然を生かした、CO₂の少ない暮らし。(※11)
- ★賢い買い物で、作る~捨てるものを少なく。
- ★エコなかまを増やし、大きな“ちから”に。(※12)



えどじだい 江戸時代はエコだった

江戸時代は、電気もなく、国内資源ですべての衣食住をまかっていた。ぜいたくをせず、モノをたいせつにし、じゆんかんがけしやかいなべせとのしゆりしよくにんたゴミゼロのすぐれた循環型社会でした。鍋や瀬戸物の修理職人しもごえかかみくずかしようにんじだいはいけいちがや下肥買い紙屑買いの職人もいました。時代背景は違いますが、江戸時代から学ぶものはたくさんあるのではないのでしょうか?



彩の国環境大学修了生の会

埼玉県が運営する埼玉県環境科学国際センターが、毎年開講している「彩の国環境大学」の修了生及び環境問題に関心をもっている県民有志により結成されています(設立1998年)。2021年には地域環境保全功労者として環境大臣表彰を受賞しました。当会地球温暖化防止部会編集。発行 2023年6月

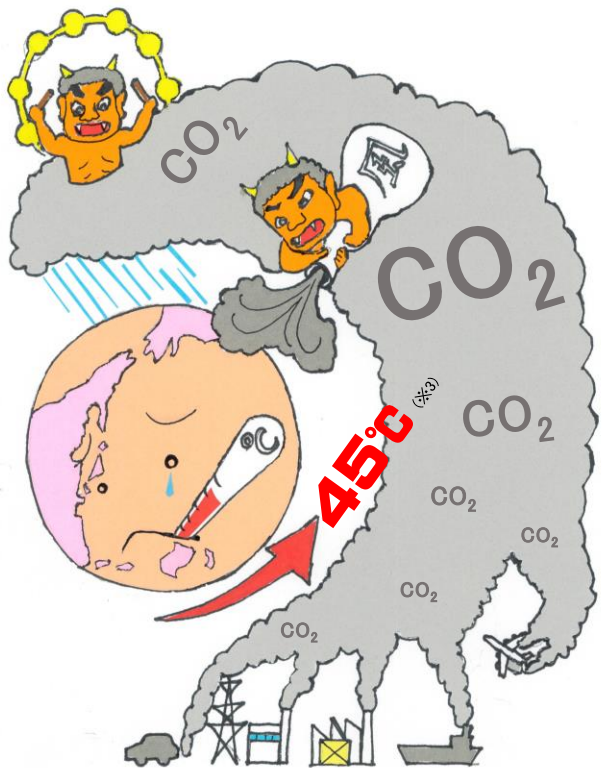
どうする 温暖化?



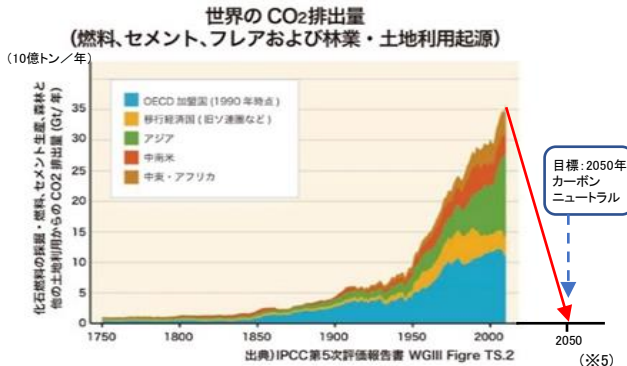
さいのくにかんきょうだいがくがくしゅうりょうせい かい
彩の国環境大学修了生の会

地球は病んでいます！

地球の温暖化で猛暑(※1)や大雨・強風も増え、世界では干ばつや山火事も増え、海面も上昇しています。私たちや他のいきものたちも、段々と住みづらくなってきました。食料生産にも影響し、不足が心配です。原因は二酸化炭素(CO₂)を主体とした温室効果ガスの増加です(※2)。

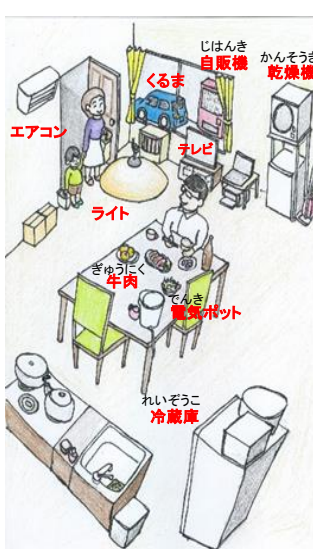


IPCC(気候変動に関する政府間パネル)では、地球の平均気温上昇を産業革命前と比べて(人類生存危機となる)2℃以下に抑える目標を立て、温室効果ガスの排出を2030年までに(2010年水準から)半減、2050年前後に正味ゼロを求めています。しかし現状は逆に増加傾向にあり、実現はかなり厳しい状況です。



私たち日本人は、1人当たり1日約23kgのCO₂を排出しています。これは世界平均の約2倍です(世界平均12kgCO₂/人・日)。(※6)

Aさんの1日のCO₂排出量 (※7)



分類	品目	使用量	排出量 kgCO ₂	
エネルギー	電気	5kW	2.2	
	ガソリン	1lit	2.3	
	プロパン	0.05m ³	0.3	
	灯油	0.2lit	0.5	
	水道	1m ³	0.2	
	お米	0.5kg	0.5	
	小麦	0.5kg	0.4	
食べもの	大豆	0.5kg	0.4	
	ナス	0.05kg	0.1	
	みかん	0.05kg	0.1	
	牛肉	0.2kg	4.6	
	豚肉	0.2kg	1.6	
	鶏肉	0.2kg	0.8	
	缶コーヒー	2缶	1.6	
	緑茶	4杯	0.2	
	その他	ボールペン	200円	0.6
		コピー用紙	300円	1.5
宅配便		3個	0.9	
ごみ		1kg	0.9	
クリーニング他	—	3.3		
合計			23kg	

Aさんのリビング・キッチン 及び赤字:CO₂排出量の多いモノ。

日本の目標と対策



電源の目標構成比率 (※9)

電源	2019年実績 比率	2030年目標 比率	課題
太陽光	7%	14~16%	天候に左右され不安定
風力	0.7%	5%	同上
地熱	0.3%	1%	自然破壊の懸念あり
水力	7%	11%	同上
バイオマス	3%	5%	同上
水素・アンモニア	0%	1%	脱炭素製造が未知数
原子力	6%	20~22%	安全面で課題多い
天然ガス	37%	20%	脱炭素でない
石油・石炭	39%	21%	CO ₂ 回収利用・貯蔵が未知数

再生可能エネルギー比率:18% ⇒ 37%

解説

- ※1(1)海外の高温事例: ●カナダで49.5℃の猛暑。(2021年) ●アメリカ・デスバレーで54.4℃を記録(2020年)。
- (2)国内最高気温: 41.1℃ <静岡県浜松(2020年)、埼玉県熊谷(2018年)>
- ※2 CO₂の濃度は200年前に比べて1.5倍に増えています(280→410ppm)。CO₂は、石炭やガソリン等の石油製品などの燃焼でたくさん発生しています。
- ※4 世界の平均気温の上昇幅が1.5℃を超えると人間や生態系にとって深刻で広範囲にわたる不可逆な悪影響を及ぼす可能性が高まり、2℃はさらに危険と予測されている(IPCC第6次報告書参照)。
- ※5 以上の写真及び図表は、JCCCAホームページから引用。
- ※6 近年世界の年間CO₂排出量は300億トンを超え、40年前の2倍以上です。日本の2020年のCO₂排出量は10億トンで中国・米国・インド・ロシアに次いで5位の多さ。
- ※7 本表は、一般社会人が1日に購入・消費したものの例です。CO₂排出量の算出根拠は、当会ホームページの地球温暖化防止部会欄を参照下さい。
- ※8 「令和3年版環境白書・循環型社会白書」参照。
- ※9 2021年10月「エネルギー基本計画」改定(経産省の説明資料)参照。
- ※10 環境省公表「ゼロカーボンアクション30」も行動の参考になります。
- ※11 左表のように、ご自身やご家庭でのCO₂排出量を知ることも大切です。
- ※12 CO₂削減に取組む企業や団体などの支援や、環境問題に熱心に取り組まれている政治家を応援することも大切です。

※3 環境省公表「2100年未来の気象予報」では、熊谷での最高気温が44.9℃と予測されています。